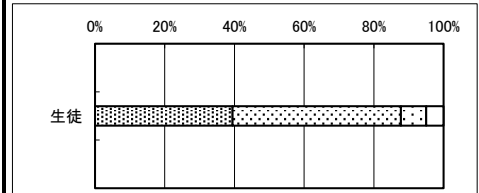


■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う ■ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

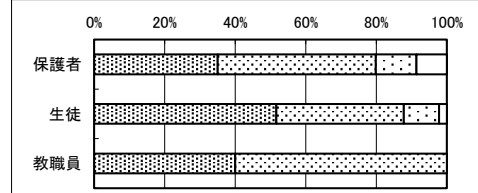
1 教育方針・目標の理解

あなたは、学校の目標（校訓など）がわかっていますか。



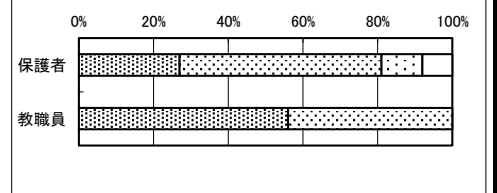
2 意欲的な学校生活

子どもは、充実した学校生活を送っていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、職員同士が連携・協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

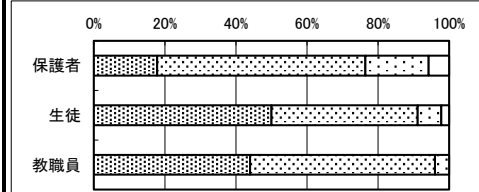


・学校の教育方針及び目標では、学校だより及び校内廊下への掲示等での「見える化」による周知を図っております。今後においては、重ねて学年学級懇談会で直接説明するとともに学年・学級通信等に記載するなど、より多くの機会に分かりやすく示していきます。
 ・意欲的な学校生活では、生徒や保護者の80%以上が肯定的に捉えており、今後も生徒・保護者のニーズ等を把握し魅力ある学校づくりに努めていきます。
 ・教師の連携・協力では、保護者の約80%以上、教職員では100%が肯定的に回答しており、まとまった組織となりました。教職員同士の報告・連絡相談が確実に浸透しています。今後も業務改革を図りながら、学校総体として学校課題の解決に取り組んでいきます。

教科指導について

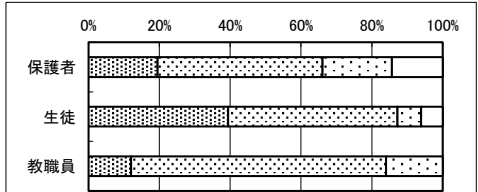
4 授業づくりの工夫

学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

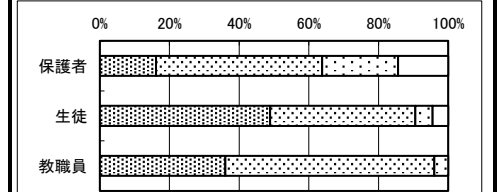


・授業づくりの工夫及び意欲的な学習態度では、生徒、教職員と保護者の間に差が見られます。生徒は学校の指導も丁寧であり自身も意欲的に学習しているという意識があります。その意欲を大切にしながら実態を的確に把握し、少人数指導、TT指導等の授業形態を工夫し、生徒の学力向上に向けて更なる工夫・改善に努めていきます。また、家庭と連携した取り組みとなるよう学校の取組を丁寧にお知らせしていきます。

総合的な学習の時間について

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

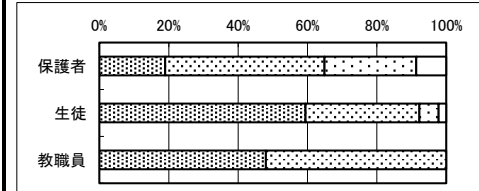


・生徒、教職員と保護者の間に意識の差が見られます。保護者の授業参観の機会確保や学級通信等で随時、情報発信を行っていきます。

道徳教育 心の教育について

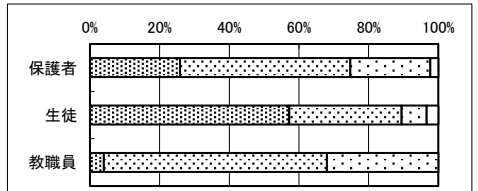
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行 (やっしるスピリッツ)

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

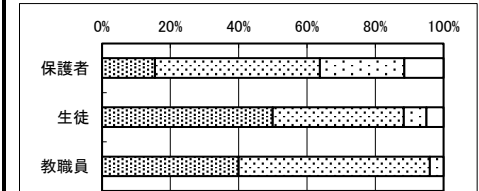


・道徳、心の教育の充実では、豊かな心を育むための基盤となることを教職員が自覚し、要となる道徳の時間を中心としながら、道徳実践力の育成に取り組まれました。特に、外部指導者を招聘し、生徒一人一人が主体的・対話的で深い学びを実現するための道徳科の授業づくりに学校総体で取り組みました。
 ・あいさつ、礼儀の励行では、保護者、生徒、教職員の3者において昨年度と同程度の評価となりました。今後とも教職員による率先垂範を心がけるとともに、TPOに応じた気持ちのよいあいさつについて、さらに指導を充実していきます。同時に、家庭や地域との連携の強化を図っていきます。

人権教育について

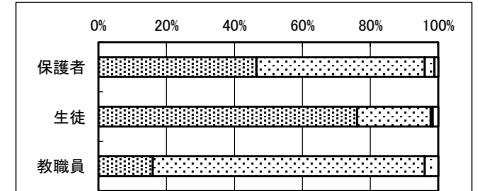
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちを大切にしていると思いますか。

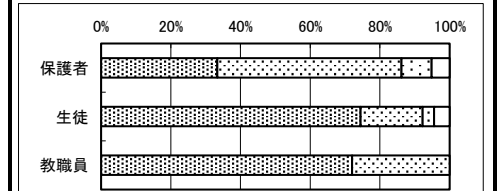


・一人一人の生徒の尊重では、人権教育を学校教育の根幹に据え、教職員が生徒にしっかりと寄り添うことを大事に日々の教育活動に取り組んでおります。教職員、生徒と保護者の間に差が見られますので、個に応じた指導を更に充実させ、認め・褒め・励まししながら、自己肯定感が高まるよう家庭と連携して取り組んでいきます。
 ・友だちへの思いやりについては、教職員より保護者・生徒の意識が非常に肯定的な結果となっています。今後も、仲間同士のつながりを大切にしている支持の風土のある学級経営を目指し、相手の気持ちを考えながら行動できる生徒の育成に努めます。

学校行事について

11 学校行事への参加と工夫

学校は、体育大会や合唱コンクールなどの学校行事を工夫していると思いますか。

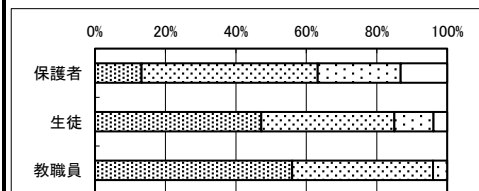


・これまでの取り組みの成果と課題を踏まえ、より生徒を主体とした体育大会や合唱コンクール等の各種学校行事を開催しました。その中で生徒の頑張りが高い評価につながったものと考えられます。今後ともできる限りにおいて内容の充実に努めていきます。

生徒指導 教育相談について

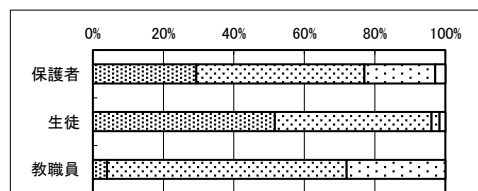
12 生徒理解

学校は、子どものよさを見つけ、理解しようとしていると思いますか。



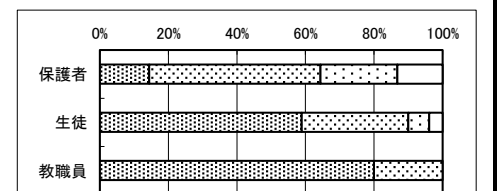
13 規範意識

子どもは、規則やマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校は、いじめや問題があったとき、すぐに対応していると思いますか。

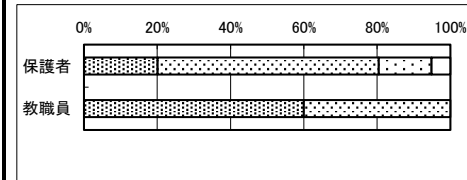


・生徒理解では、生徒・教職員は80%を超えて肯定的に捉えていますが、保護者の肯定的な回答（昨年度比-10%）との間には差が見られます。今後とも生徒の変容を見逃さないよう日頃の生徒観察に努め、生徒のよさを認め、ほめ、励ますことを大切に指導・支援していきます。生徒の悩み等についてはすぐに対応できるように教育相談体制やカウンセリング研修のさらなる充実を目指します。
 ・規範意識では、昨年度と同程度の数値結果となりました。保護者との連携を図りながら、生徒に善悪の判断をしっかりと付けさせ、ルールやマナーを守る態度を身に付けさせていきます。
 ・いじめや問題への対応では、生徒、教職員は肯定的に捉えていますが、保護者の肯定的な認識（昨年度比±0%）との間には差が見られます。今後、鏡中いじめ防止基本方針を基に未然防止や早期対応、早期解決に努めていくとともに、保護者との連携を図りながらいじめや問題への適切な対応に努めていきます。なお、いじめについての情報提供や相談等の窓口は教頭としております。

健康教育 安全について

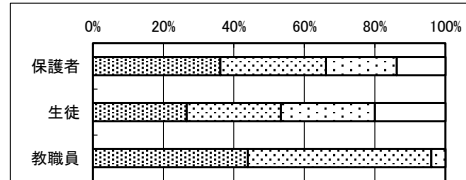
15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



16 体力向上

子どもは、すすんでスポーツなどをしていると思いますか。

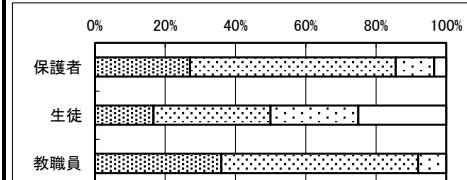


・安全と事故防止では、交通安全教室や、一斉下校時の全体指導に加え、街頭指導などの取組を行いました。特に、11月の道路交通法改正に伴う安全教育（ヘルメットや「たすき」の着用）や交通指導の徹底を行いました。今後も日頃の指導を通して交通ルールや交通マナーを遵守する態度を養っていきます。
 ・体力向上では、肯定的な回答が生徒（昨年度比+3.5%）、保護者（昨年度比+5%）、教職員（昨年度比+5%）の3者において、いずれも昨年度を大きく下回った状況です。体育大会や持久走大会等の体育的・学校行事での大きな盛り上がりや生徒の日常的な運動やスポーツ実施意欲につながるよう学校掲示物等による啓発やスポーツ文化の醸成、及び環境づくりにも取り組んでいきます。

学校環境について

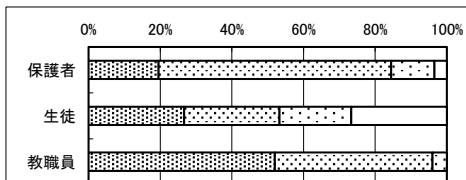
17 環境の整理・美化

学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）をきちんと整理していると思いますか。



18 施設・設備の安全管理

学校は、施設・設備を、安全でよく整備・管理していると思いますか。

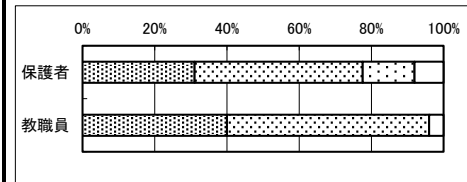


・環境の整理・美化では、保護者と教職員において昨年度と同様に高い評価となっています。一方で、生徒においては低い評価（昨年度比-4.0%）となりました。再度、無言清掃をはじめ、校内美化や整理・整頓の指導の充実を推進し、物を大切にできる生徒の育成を目指します。
 ・施設・設備の安全管理でも、保護者と教職員においては昨年度と同様に高い評価となっています。一方で、生徒においては低い評価（昨年度は調査なし）となりました。本年度も毎月はじめの安全点検及び日常点検を確実に実施し、異常箇所や破損箇所等には、迅速な修理・修繕等を行って参りましたが、引き続き、安全管理の徹底に努め、生徒が安心安全に生活できる学校づくりを推進していきます。

情報の公開・発信について

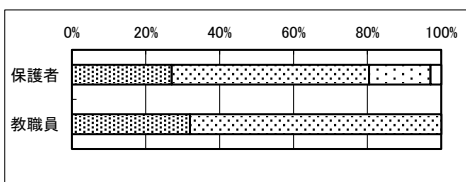
19 学校の予定等がわかる情報発信

学校は、文書やメール等で学校の情報を十分発信していると思いますか。



20 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

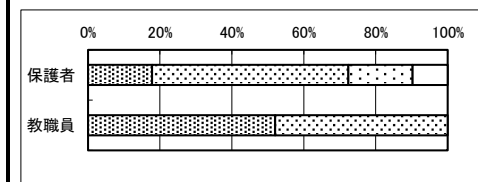


・学校の予定等がわかる情報発信では、年度はじめに年間行事予定表を配付し、保護者への周知に努めております。また、学校だより、学年通信、学級通信等で学校の様子を分かりやすい形で発信しているところです。本アンケートの実施においては、安全安心メール等のICTを活用した効果的・効率的な調査、及び情報発信ができております。今後においては、インターネットを活用し、鏡中ホームページを随時更新しながら学校の情報を提供することにも積極的に取り組んでいきます。
 ・教育活動への参加では、年間4回の学年・学級懇談会を定期的に開催しております。また、本年度は、各種学校行事を含むオープンスクール開催の期間を設け、保護者の皆様が生徒の頑張りと成長した姿を気軽に参観できるように取り組みを行いました。今後も保護者や地域の方が参加しやすい公開教育に努めていきます。

家庭・地域の連携について

21 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携し協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

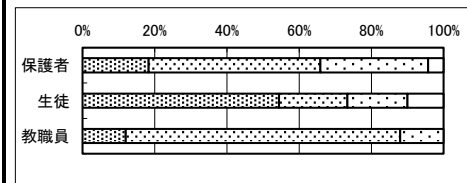


・家庭との連携では、担任や学年部との情報共有に努め、教育活動の充実に取り組んでおります。また、PTA活動への理解・協力については、安心・安全メール等を活用しながら各種情報を適宜、提供し、連携の強化を図ってまいります。
 ・地域との連携では、鏡まちづくり協議会等との連携をさらに強化しながら、学校、保護者、地域が手を携え、地域とともにある学校づくりを目指してまいります。

「やつしろスピリッツ」について

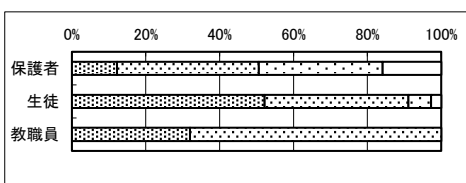
22 聞き方(やつしろスピリッツ)

子どもは、話す人の顔を見てしっかり話を聞いていると思いますか。



23 そろえ方(やつしろスピリッツ)

子どもは、靴のかかとを靴箱の手前の縁に揃えていると思いますか。

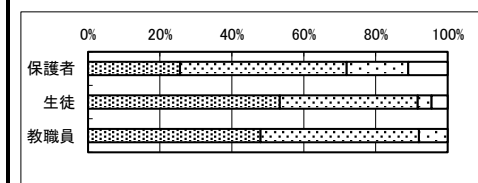


・「8 あいさつ、礼儀の励行」と上記「22」「23」の3項目を併せて、「やつしろスピリッツ」と位置づけ、八代型小中一貫・連携教育の基盤となる教育として、義務教育9年間を通した育ちと学びの連続性を目指す取り組みとされております。
 ・聞き方では、肯定的な回答は過半数を超えるものの、「しっかりと話を聞く」と回答した保護者及び教職員の割合は2.0%を下回っており、今後においてはコミュニケーションの土台となる生徒の「聞く態度」をより重点的に育成してまいります。
 ・そろえ方では、学校と家庭での生徒の取り組み姿勢に差があるように考えられます。義務教育9年間を通じて当たり前身に身につけた所作（しつけ）となるよう引き続き指導を行ってまいります。

総合・全体

24 鏡中で良かったか

「子供を鏡中に通わせて良かった（保護者）」「鏡中で学んで良かった（生徒）」「本校に勤務して良かった（教職員）」と思いますか。



・総合的・全体的な評価では、生徒と教職員答では90%以上の肯定的な回答が得られ、保護者では70%の肯定的な回答にとどまりました。引き続き、学習面及び生活面における日常的な指導の充実を図るとともに、学校行事や部活動等における生徒の感動体験の推進に努めてまいります。

来年度の具体的な取組について

・教育活動全般において、昨年度以上に教職員の連携強化による学校総体での取組が効果的に機能している項目が数多く見られます。今後もすべての生徒が安心して学校生活を送れるよう、健康衛生面にも注視しながら日常の観察や生活ノート（鏡魂）の活用、生活アンケートの実施、教育相談等とおして、生徒の姿や心のサインを見逃さないよう努めるとともに、「愛の123運動+1」をはじめとする、心身に悩みを抱える生徒への早期対応を実践してまいります。また、SCやSSW、専門機関との連携による相談活動の充実、定期的な不登校対策委員会を実施し、「チーム鏡中」として学校総体で協働して取り組みます。
 ・学力向上に関しては、校内職員研修における「授業力の向上」の取組を核に、県学力調査をはじめとする各種調査の結果分析とその具体的な対策の確実な実施により、「授業が分かる」「学校が楽しい」と感じる生徒の割合がさらに増加するよう、さらなる教育の充実を図ってまいります。また、保護者と連携して家庭学習の習慣を定着させる取組を推進してまいります。
 ・健康・安全面に関しては、生徒の登下校時における事故防止や安全教育について、地域の方の協力を得ながら家庭と連携して繰り返し取り組んでまいります。特に、本年度途中から、自転車駐輪時における徹底した整理整頓の指導を行っており、交通ルールの遵守や落ち着いた行動等と結びつけながらさらなる指導の充実を図ってまいります。

学校関係者評価

・授業参観をしている時に気がついたことであるが、発表の声が少し小さいように思った。思春期にも重なり難しい年代であると思うが、家庭と連携して繰り返しの指導が大切であると思う。
 ・先生方の取り組みの真剣さが分かった。
 ・校内がきれいに整理整頓されている。また、清掃もきれいにされており、日頃から熱心に指導されているのだと感じた。
 ・生徒も先生も生き生きと活動に取り組んでおられると思った。（保護者もそれぞれ真剣に見学されていると感じた。）
 ・合唱コンクール等は、鏡文化センターのような地元の素晴らしい施設を活用してはどうか。